

# 航空機材売却 販路拡大

三井住友ファイナンス&リース(SMFL)は、アイルランドの航空機リース会社ゴスホークの買収を完了した。傘下の航空機リース会社SMBCアビエーションキャピタル(SMBCAC)がゴスホークの全株式を取得し、完全子会社化した。買収額は約15億(約1900億円)。



SMFL 執行役員 田中 宏一 氏

「ゴスホークのリース部門の創業メンバーの1人。戦略や機材の選択がSMBCACと非常に似ている。保有・管理する機材214機の78%が

単通路機(ナローボディ機)と、SMBCACとの親和性の高さが決め手となった。業務運営体制は買収完了後、速やかにSMBCACに一本化する。――コロナ禍が続く5月に買収を発表しました。

## 企業買収契機に攻勢

「コロナ禍以前に売りに出していた案件は買収額が高かった。コロナ禍により航空機リース業界も厳しい状況だからこそ買い時。比較的割安な額で買収できた。2月にはロシアに売却させてきた。この日本型オペレーティングによるウクライナ侵攻が『バイ・アンド・セグリス(JOL)ピル』戦略を加速させる。航

空機証券化(ABS)を増やす。(航やファンドも活用して空機を投資対象としたいく)」

大鷹 取り込みさらに高みへ  
国際規模の旅客需要はウクライナ情勢の影響が残るものの、中長期的には年4%程度成長が見込まれる。SMBCACの主力機種であるナローボディ機は国内線など短距離路線向けで需要回復のスピードも高い。ゴスホークの意味は大鷹。大鷹を取り込みさらなる高みを目指す。  
(編集委員・水嶋真人)

### 記者の目